

“いいまち”つくる井町です!!

岡崎市議会議員

井町よしたかの“いいまち”ニュース

(市政レポート)

子供からお年寄りまで幸せを感じられる岡崎市を目指します!

発行：岡崎市矢作町字出口1番地 井町圭孝連絡事務所(東し労組内) TEL:34-2514



明けましておめでとうございます。引き続き“いいまち”づくりのため活動してまいりますので、本年もよろしく願いいたします。

去る12月2日から19日間にわたって岡崎市議会12月定例議会が開会され、全ての提出議案を可決・決定しました。私の一般質問も含め、トピックスを以下に報告いたします。

公契約条例の制定

愛知県下自治体で8番目となる公契約条例を制定。公契約条例とは、公契約に係る市の基本方針を定め、市及び事業者等の責務を明らかにすることにより、事業者等の安定した経営環境及び公契約業務に従事する労働者の適正な労働条件を確保し、市民に提供されるサービスの充実並びに工事及び業務の品質の確保を図り、もって市民生活の向上及び地域経済の健全な発展に寄与するもので、透明性及び公平性の確保、適正な予定価格の設定、総合評価競争入札の活用、労働環境の整備並びに市内事業者の受注機会の確保を基本方針としている。全国的に、特に建設業界においては技術者不足、特に若手技術者が少なく、本市においても同様に労働者不足は深刻な状況であり、この課題に対しても、官民一体で取り組むことが求められている。岡崎市においてもダンピング受注による労働者の賃金へのしわ寄せの防止や若年労働者の雇用促進のため、最低制限価格制度などの導入、総合評価落札方式における若年者雇用に対する加算項目の創設など入札制度に係る施策を実施してきたが、条例を制定することで更なる充実を目指すことを目的としている。令和2年4月施行



児童育成センターの民間委託化

児童育成センターの運営は、1教室当たり有資格者の支援員を含め、常時2名以上の職員を配置する必要があるが、現状では支援員116名と年間延べ600人の臨時職員を補助員として充てることで何とか配置基準を満たして運営している。児童育成センターを民間ノウハウを活かした事業運営に転換することにより、専門業者のネットワークによる慢性的な支援員等の人員不足の解消や、放課後児童の更なる受け皿の整備に伴う支援員等の人材確保の他、支援員等の質の向上を図り、児童へのきめ細やかな育成支援を行うことが出来ると判断し、運営業務を委託するもの。優先交渉事業者は株式会社トライグループで、県内に登録講師として、他の自治体で従事する者を含めず、支援員としての基礎資格を有しているものが約100名、基礎資格取得見込み者が164名在籍していることから現任の支援員等の転籍も含め、配置基準を十分に満たす人員を確保しており、人材不足の解消と更なる整備に伴う人材の確保に十分対応できるものと判断できる。令和2年度から広幡及び大樹寺児童育成センターを除く46館で委託化される。



街頭防犯カメラの計画的設置

市内の犯罪抑止に効果的な街頭防犯カメラを3年間でまずは1千台を目標に設置し、犯罪を起こさない安全安心なまちづくりを推進する。その中で令和2年度は、450台の設置を予定しているが、設置が計画される場所は、駅周辺、主要道路の交差点など多くの人が行きかう場所に設置される予定。

井町の意見!

●公契約条例の制定について、私が所属する民政クラブの提案から進んだものであり、働く者の労働条件の向上にもつながる事から、議案に賛成した。

●児童育成センターの民間委託化について、株式会社トライグループは先行する豊田市でも実績があり、人材も十分に確保できる見込みであること、支援の質の向上も期待できることから、議案に賛成した。

●街頭防犯カメラの計画的設置について、周辺の地域では岡崎市以上に防犯カメラの設置が進み犯罪者が周辺に比べ防犯カメラの少ない岡崎市で犯行に及び可能性がある事を以前から市に対して指摘してきた。防犯カメラの設置が進むことで犯罪が大きく減少することも期待できることから議案に賛成した。

井町の部屋

12月定例議会において私自身17回目となる一般質問に登壇しました。その内2件の質問項目について要点を報告します。

犯罪等被害者支援

Q 岡崎市の凶悪犯罪数を伺う。

A 「凶悪犯」は統計上、殺人罪、強盗罪、放火罪、強制性交等罪を合わせたものをいい、岡崎警察署管内の認知件数は、平成28年が8件、29年が11件、30年が29件となっており増加傾向に上がっている。昨年の内訳は、強盗罪が13件と最も多く、次いで強制性交等罪が10件、殺人罪これは未遂罪も含めて4件、放火罪が2件の順になっている。

また、強盗罪及び強制性交等罪は県内45警察署中でワースト1位、殺人罪はワースト2位であるなど大変厳しい治安情勢となっている。

Q 残念ながら凶悪犯罪に苦しむ被害者が本市には多いことが分かった。対策は別途必要と考えるが、本市も先行している名古屋市のように犯罪等被害者を支援するための条例を作り、支援制度を設けることを提案するが見解を伺う。

A 犯罪被害は、誰もが巻き込まれる可能性があり、自治体による支援の差が生じていることは好ましくないと考え、本市では愛知県市長会を通じ国に対し、見舞金制度等のガイドラインの策定や犯罪被害者支援に係る財政措置を要望している。一方で、犯罪被害者等基本法においては自治体の責務とし



井町質問映像



て、「地域の状況に応じた施策を策定し実施する責務を有する」と定められていることから、本市としても名古屋市の支援制度を参考に、被害者に一番身近な地元自治体として犯罪被害者に寄り添い、市民全体で支え合う支援制度の実施は必要であると考えている。今後は、更に充実した支援ができるよう条例の制定に向けた検討を進めていく。

鹿乗川の水害対策

Q 強い雨が降ったときに気象庁からJR鉄橋部より下流の地域で警戒レベル3相当が発令されている。拡幅工事完了後流下能力が約3倍になるがJR鉄橋部の下流の対策を伺う。

A JR交差部の工事完了後は、河道断面が大きくなることから平成20年8月末豪雨におけるJR交差部上流域の浸水被害は軽減されることとなる。また、JR交差部以外での対策としては、下流域への影響なども配慮し、必要となる堤防補強等の対策を実施すると愛知県から聞いています。

Q 操作員が鹿乗排水機場に常駐してないため自動化する考えを伺う。

A 現在、手動で運転している岡崎鹿乗排水機場を運転するためには、吐出先である矢作川樋管口を定電力メー

び現場において目視により人の侵入などないか安全を確認し、さらにサイレンや回転灯にて運転することを知らせている。これは、ポンプ運転により最大で毎秒11tもの排水が勢いよく放流され危険が伴うためである。また、「河川ポンプ施設技術協会 揚排水ポンプ設備技術基準・同解説」に「主ポンプの始動に限っては手動運転操作を標準とする。」と記載されており、岡崎鹿乗排水機場だけでなく他の排水機場においても建設当時から自動システムは導入していない。今後も、導水路ゲートの開閉、河川・支川水位状況の把握などあらゆる状況を適切に判断し自動制御では出来ない安全なポンプ運転に努める。

井町の意見！

●犯罪等被害者の支援については、岡崎警察署管内において強盗罪及び強制性交等罪は県内45警察署中でワースト1位、殺人罪はワースト2位と不名誉な結果となっており、苦しんでいる被害者・遺族が多い。被害者に寄り添える支援が必要である。また、犯罪を減らす対策も急務である。今後3年間で市内に防犯カメラが一万台設置されるため、犯罪が大きく減ることを期待する。また、女性は防犯ブザーを持ち歩くなどの対策も考えていただきたい。

●鹿乗川の排水ポンプが稼働することで住民にとっては大きな安心につながっている。排水ポンプの稼働が遅れないように、住民の期待に応える運転を継続するよう強くお願いした。

井町よしたか 連絡先



HPIはこちら

事務所 〒444-8522 岡崎市矢作町字出口 1 番地 東レ労組内
TEL : 0564-34-2514 FAX : 0564-34-2517
自宅 〒444-0931 岡崎市大和町字塗御堂24-6
TEL : 070-5253-4192 FAX : 0564-32-4192
E-mail : yimacchi@m5.catvmics.ne.jp
ブログ : <http://ameblo.jp/iimachi-imachi/>



政治に参加しよう！

地域の困りごとや、市政に対する意見・ご要望など気軽にご連絡下さい。